

STOP! 「コロナ・ハラスメント」

新型コロナは誰でも感染する可能性があります 私たちが闘っている相手は、人ではなくウイルスです

新型コロナは人類未知のウイルスであり、誰しも怖いものです。この病気に対する恐怖心、誤解、偏見により、気づかないうちに誰かを排除したり、差別をしていませんか？

感染者や接触者、医療従事者や他地域からの来訪者などに対する差別は許されるものではありません。公的機関が発信する正しい情報と知識をもとに、差別やハラスメントを防ぎ、人権に配慮した冷静な行動・対応をお願いします。

「コロナ・ハラスメント」とは？

- 退院した感染者が、お店の方から「帰れ」と言われた。
- インターネットで感染者を特定し、名指しするような書き込みがあった。

き込みがあった。
• 医療従事者の子どもが、保育所で受け入れ拒否やいじめを受けた。など
～「思いやり」と「感謝」を～



新型コロナは誰でも感染する可能性があります。私たちが闘っている相手は、人ではなくウイルスです。感染した方を思いやりましょう。また、最前線で治療や社会生活維持にあたる医療従事者や関係者の方々に感謝の気持ちを持ち、人との絆を大切に、この難局を乗り越えましょう。なお、県の感染症対策基本条例により差別的取扱いなどは禁止されています。

【新型コロナウイルス感染症に関する人権相談窓口】

不当な差別、偏見、いじめなどの被害にあわれた方の相談を受け付けています。

岐阜県人権啓発センター ☎058-272-8252 インターネットからも相談ができます。

コロナとともにある新しい日常を実践しましょう！



新型コロナウイルスとの闘いは長期にわたります。緊急事態宣言が発令されていた頃と同じように活動抑制をしていると、皆さんの心や市内経済が疲弊してしまいます。一人ひとりが基本的な感染対策の習慣を身につけ実践しながら、元気を取り戻し、市内経済の活性化につながるよう行動しましょう。

「みんなで応援商品券」や「公共交通応援プレミアム利用券」などを使って、買い物やお出かけをし、事業者の方々に応援しましょう。



インフルエンザワクチンの優先接種にご協力ください

今年は、過去5年で最大量(最大約6300万人分)のワクチンが供給される予定ですが、より必要とされている方に確実に届くように、下記時期の接種については、以下の方を優先します。ご理解ご協力をお願いします。

●接種時期

10月1日(木)～

- 65歳以上の方
- 60歳から65歳未満の慢性高度
心臓・腎臓・呼吸器機能不全者など

10月26日(月)～

- 医療従事者・基礎疾患を有する方
- 妊婦・生後6ヶ月～小学校2年生
- 上記以外の方も接種できます。



◆接種に当たっては、あらかじめ医療機関にお電話での予約をお願いします。

流行前のワクチン接種が有効です

インフルエンザワクチンで発症を防止できる効果は、乳幼児では20～60%、高齢者では34～55%とされています。またワクチンを接種せず発症した方のうち60%はワクチンを接種していれば発症を防ぐことができたと言われています。

インフルエンザワクチンは、接種すればインフルエンザに絶対にかからないというものではありませんが、インフルエンザの発病を予防することや、発病後の重症化や死亡を予防することに、一定の効果があるとされています。接種後、接種部位の腫れや痛み、発熱やだるさなどがみられることがあります(通常は2～3日中に消失します)。これらの副反応についても理解したうえで接種してください。